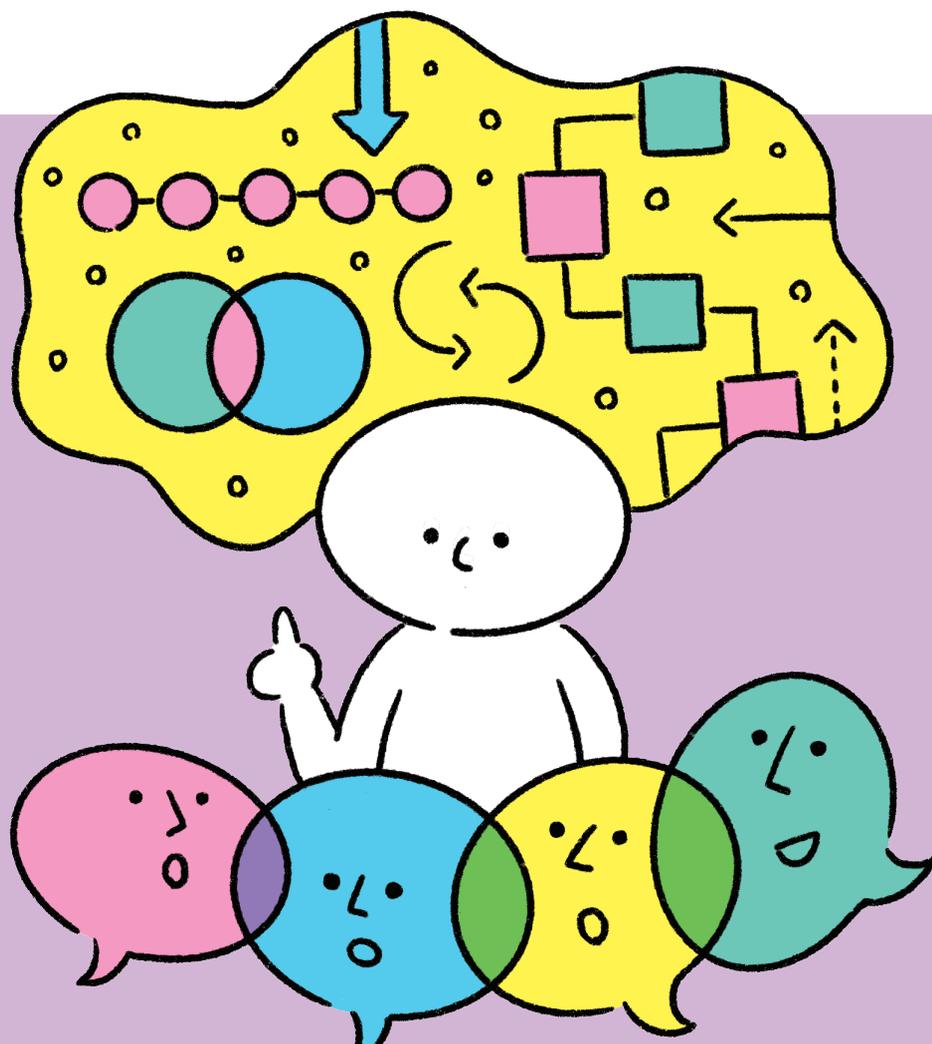


ことばの学び



学びを豊かにする
話し合い

ESSAY

カギカッコの中を読んでみよう 松重豊

特集

学びを豊かにする話し合い

- 「学校」という場における「話し合い」の位置 上山伸幸
- 演じて学ぶ「話すこと・聞くこと」～日常会話で教材を～ 田川学

授業アイデア

納得解の得られる論題を探そう
～「グループディスカッション」～ 阿部由美

Number

20

カギカッコの中を 読んでみよう

松重豊

国語の先生であればシェークスピアやチェーホフはもちろんご存じのはずだし、「ハムレット」や「桜の園」のおおまかなすじだって諳んじていらっしやる方も多いはず。なかにはかつて劇で演じたことのある強者がいてもおかしくない。これらは古典文学の中でも戯曲と呼ばれるカテゴリーにあって、いわゆる散文で書かれた作品群とは異なる。

一幕一場と書かれた冒頭に、短く「山」だとか「城」だとか場所の説明があつて、これからシーンの積み重ねによって最後まで構成されているのが戯曲の流れ。また各場ごとに、どのような状況にあるのか示したト書きが書かれている。そのあと数行あけていよいよ登場人物の固有名詞が登場。カギカッコ以下にいよいよ台詞と呼ばれる戯曲の肝、生きた人間の口から出た言葉が書かれている。

ところがだ、この戯曲文学というやつは読み物としてはかなり厄介である。そもそもカタカナの名前が判別しづらいことに加え、王様の身なりなどのビジュアルを想像力で補いながら読み進めるのは非常に難易度が高い。

おまけに翻訳が古いものであれば、人の喋り言葉としても成立しておらず、ますます物語が頭に入ってこない。これで古典を毛嫌いされては沙翁もたまつたもんじゃない。

僕らの仕事はこのカギカッコの中が全て。場所や状況についてのト書き部分は劇場であれば舞台美術、映画であれば撮影部と美術部の技で観客にお伝えいただく。さてここから僕らの仕事。カギカッコの中に書かれた文字列を舞台上やカメラ前で、自分の口もとから再生させるのが使命。さも十六世紀から蘇った貴族のように、はたまた宇宙人、あるいは喋る猫のように。

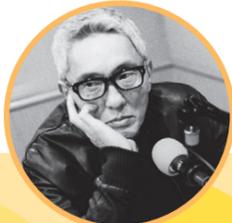
ときにはカギカッコの中に言葉があるとも限らない。例えば、「……」という台詞だつてある。言葉にならない思いを抱えてどういう気持ちなんだろう。もちろん文脈から感じ取ったその人物ならではの無言の間ということもありえるし、呆れて言葉にならない絶句かもしれない。

僕がここで話したいのは、どんな本でもかまわないのでカギカッコの部分をおな

の口で音にして遊んでほしいということ。作者だって、ここは登場人物として生身の言葉が聞こえてきたはずなんだ。下手でもなんでもかまわないので音にすることで言葉は立体的になり、二次元の世界から現実に飛び込んできると、読むときときには気づかなかつた主人公の感情までくみ取ることができるかもしれない。でも図書館ではやらないでね。

Profile まつしげ ゆたか

俳優。1963年生まれ。福岡県出身。蜷川スタジオでの活躍を経て、映画、舞台、テレビドラマなどで幅広い役を演じる。ナレーターやラジオのパーソナリティなどの実績も多数。2025年1月10日公開予定の劇映画「孤独のグルメ」では、監督、脚本、主演を務める。



特集

学びを豊かにする話し合い



「学校」という場における 「話し合い」の位置

創備大学教育学部准教授 上山伸幸

求められる「学校」という場の 問い直し

生成AIは、既に私たちの言語生活に影響を与えています。活用場面は情報収集から文章の要約、執筆の補助まで幅広く、今後、国語科の内容や方法を見直す必要もありそうです。さらに、知のあり方が変容するとなれば、各教科の学習、さらに「学校」そのものの役割の再考もまた求められるといえます。

一方、生徒たちを取り巻く状況に目をやる。不登校が全国的に増加傾向にあります。要因は複数考えられますが、「学校」が生徒たちにとってどのような場であるべきかを、例えば居心地のよさのような次元から、一度考え直す時期にあるのかもしれない。コロナ禍を経て、一部の活動はオンライン

へと置き換わりましたが、多くの社会活動は対面を中心とした活動に回帰しています。これは、私たちの多くが、人間のもろもろの活動が他者と対面（フェイストゥフェイス）で向き合いコミュニケーションをとることで、円滑に行えると感じているためです。このような状況にある現代において、「学校」だからできることは何でしょうか。

話し合いの「方法」は 国語科で学ぶもの

「学校」の役割の一つに、さまざまな人との関わりを経験することがあげられます。自分と異なる考えをもつ他者との「話し合い」は、考えが相対化されたり触発を受けたりと、学習面にもよい効果を生じさせます。

ICTの普及により、自宅でも学習ができる環境はこの十年で大きく発展しています。しかし、他者と直接言葉を交わす「話し合い」は、今日でもなお、学校だからできる重要な

実践として位置づけることができます。

では、話し合いを求められる場面において、生徒は話し合いに参加できる準備が整っているといえるでしょうか。私は、一部の教室を除き、話し合いの「方法」を学習することなく、話し合い活動への参加を求められてしまっているのが現状であると捉えています。

周囲の生徒に発言を聞いてもらえ、促される場を創出するためにも、話し合いの「方法」の学習は有効です。まずは、教師が生徒にどのような「人と人との関わり」を経験して欲しいと願っているのかを見つめ直すことから、授業構想をはじめてみてはどうでしょうか。

Profile うえやま のぶゆき

広島大学大学院教育学研究科博士課程後期修了、博士(教育学)。中国学園大学子ども学部専任講師を経て、現職。主著は、『小学校国語科における話し合い学習指導論の構築』(溪水社、2021)。教師や教職課程の学生が授業を「みる」とはどういうことかについても関心がある。



演じて学ぶ「話すこと・聞くこと」の学習に親しみを

放送大学滋賀学習センター企画主幹 田川学

学校での「話すこと・聞くこと」の授業はイマイチ?

教員を目指す大学生に「皆さんは『話すこと・聞くこと』の単元ではどんな学習をしましたか?」と尋ねたことがある。首をかきしげる者、懸命に思い出そうとする者。しばしの沈黙のあと、「えっと、中間試験のときに聞き取りテストがあったような……」「教科書にあった一分間スピーチを、授業のはじめに順番で誰か発表してたかな……。」と答える者が数名。「記憶がない。」と断言する学生も少なからずいた。「話すこと・聞くこと」の学習の印象が圧倒的に薄いことを実感する。そこで私は「あなたは人の話を聞くとときにどんなことに気をつけていますか。」と機会があるたびに尋ねている。「話し手の目を見る。」「しっかりと聞く。」に類する回答が大勢を占める。「話すこと・聞くこと」の指導が低調であることと無関係ではないだろう。その原因はどこにあるのか。まず「話すこと・聞くこと」の教材研究や

2 日常のコミュニケーションをよりよくするためのアドバンス動画

子供の日常生活の中から、会話がかみ合わずうまくいかなかった経験や、疑問をもちながらも聞き逃した経験などをもとに教材化した。いずれも観点をしぼったコンパクトなスキット形式である。会話例を通して、日常のコミュニケーションのあり方について振り返って考えさせたい。練習や準備は必要ない。その場で子供たちにシナリオを渡して演じさせ、その後、全員で問題点を話し合わせる活動も効果的だ。ここでは、二つの動画を紹介する。



アドバンス動画「行列のできるカフェ」の一場面。
「基礎動画」収録教材は全て2分から3分程度の短い動画である。

教材開発の難しさがある。教科書教材には、スピーチ、プレゼンテーション、グループディスカッションなどがあるが、授業で実際に取り組んでみると模範例と目の前の子供たちの姿は程遠い。最近、タブレットの普及によって動画が見られるようになり理想的な学習のイメージはつかめるようになったが、そこにいきつくまでの指導の具体がわからない。次に、音声言語による学習活動の評価が難しい。音声は瞬時に消える。一人の子供の発言を評価するだけでも大変だが、まして、話し合いの中で複数の子供が次々に発言するのを一人の教員が全て評価するのは至難の業である。ICT機器の導入が学習の記録や再生を容易にしたというものの、それらを再視聴して評価するには時間と労力が必要である。機械音痴の教員には機器の設定や準備、操作の不具合など突発的なトラブルも憂鬱である。さらに、中学生ともなると思春期真っただ中で不安定である。この時期特有の過剰な自己意識や反抗的な態度、緊張した人間関係が同調圧力を生み出し教室を支配している。「素を出したくない彼らに、いきいきと話したり聞いたりさせることは容易ではない。高校入試にはあまり出題されてこなかった、という現実も輪をかけているだろう。

「合唱コンクールの練習」

中学校のメインイベントの一つである合唱コンクールをめぐる場面を取り上げる。「合唱部が多い」だから『うちのクラスが優勝する』。という会話に、「そんなこと言いきれるかな? だって……。」と反論する内容である。友達の会話に同調せずに自分の考えを伝えようとするCさんの発言の意図を聞き取らせたい。よい合唱にしたいという目標は皆で共通していても、価値観が異なるために考え方や取り組み方は多様になる。互いの意見を尊重しながら、根拠を示して自分の思いも伝える力を育てたい。

「行列のできるカフェ」

この動画では、AさんとBさんが、話題になっっている「おしゃれなカフェ」に行きたいねと楽しく話しているところに、突然Cさんが入ってきて、「それはしばらく行かないほうがいいんじゃない?」という否定的な発言をする場面を取り上げる。否定的な発言をされた場合でも話を聞く姿勢をもち、その発言の意図を聞き取ることの大切さについて考えさせる。

また一方で、楽しそうな会話をいきなり否定的な発言でさえぎるCさんの言動は得策で

「話すこと・聞くこと」の学習に親しみを

このような「話すこと・聞くこと」の課題を少しでも解消し、基礎的・基本的能力と学びに向かう力の育成を図った「基礎動画」(令和7年度版『現代の国語』二次元コード参照先コンテンツ)のねらいと活用方法について述べたい。

1 「話すこと・聞くこと」の基礎学力を身につけるベーシック動画

ベーシック動画は四つあり、声を届ける工夫、目的や場に応じた体や机の向き、リアクション、質問について解説している。それらのこつを具体的にまとめた「ここがポイント」を実際に自分たちでやらせてみると、その効果を実感し納得することができる。これは子供自身のメタ認知能力を高め、他教科はもちろん道徳、総合的な学習の時間、特別活動などでも子供たちの主体的なアクティブラーニングの一助となる。現在、中学校に通う子供たちは入学前にコロナ禍に見舞われた。コミュニケーションから遠ざかった小学校での経験不足を補う補充教材としても活用できる。

はないことにも気づかせる。円滑なコミュニケーションのためには、相手の発言を共感的に聞き状況に応じて話すことが大事なポイントになることへの理解を深めさせたい。
充実した「話すこと・聞くこと」の学びに向けて

育てたい力が明確ですぐに取り組める、そして子供が「やってみたい」と思う「話すこと・聞くこと」の教材作成は喫緊の課題である。「話すこと・聞くこと」の学習こそ子供の思考力、判断力、表現力を伸ばし、思春期の同調圧力を乗り越えて学びに向かおうとする姿勢を支える。それは、子供どうし、子供と教師の信頼関係を深めると確信している。「基礎動画」での学びがきっかけとなり、批判的な発言も遠慮なくできる学習集団や、相手を思いやり自分の考えを率直に述べられる国語教室になることを願ってやまない。

Profile たがわ まなぶ

1983年から大津市立中学校、滋賀県総合教育センターに勤務。大津市立日吉中学校校長を経て2020年より現職。研究テーマは「話すこと・聞くこと」の教材開発、指導と評価。発達支持的生徒指導の機能を生かした授業のあり方。協同出版教員採用試験対策講座講師、子育て支援NPO法人YUMEMURA顧問。



授業 アイデア

1年

納得解の得られる 論題を探そう

「グループディスカッション」

東京学芸大学附属世田谷中学校 阿部由美

授業の流れ

《全3時間／本時は第2時》

導入

第1時の復習。

- ▼第1時では、「話し合いのこつ」「提案」「確認」「質問」「促し」を意識しながら、グループディスカッションの仕方そのものについて練習をした。
- ▼自分の中のあたりまえが友人にとってのあたりまえではなかったことをふまえ、論題があらゆるところにあるという前時の学びを振り返る。

展開1

学校生活のあたりまえを疑う。

- ▼中学校生活を送りながら感じている「不思議だ」と思うことや、小学校とのシステム的な違いを探す。
- ▼三々四人のグループワークで行い、「小学校との違い」や「中学校に入って驚いたこと」などを列挙する。

展開2

あたりまえの中から論題を探そう。

- ▼【実践時に生徒からあがった論題例】
 - ・出席簿を男女混合にするメリット・デメリットは何か。
 - ・制服に男女差は必要か。(ネクタイは男子だけのものなのか。女子の冬服にはスラックスがあるが、夏用も必要ではないのか。)
 - ・そもそも制服は必要か。
 - ・委員会活動で「男女各一名ずつ」となっている現行システムの「男女枠」は必要か。
- ▼展開1の活動の中から「グループディスカッション」の論題になりそうなものを選び、グループの論題としてロイノート・スクールで提出する。

まとめ

次時は提出されたそれぞれのグループの論題で
ディスカッションを行う。

○展開1が既にグループディスカッションの体裁を取っており、三々四名の生徒がそれぞれ促しあいながら自分の小中の学校生活を振り返ることができた。また提案された論題からは、生徒の関心がある領域がわかった。

○「自分がだん何も考えずに受けている事柄に疑問をもつ人がいることが最初の驚きで、話してみると『なるほど』と思うことと『考えすぎではないか』『そうは思わない』ということが出てきておもしろかった。」等の感想があり、ディスカッションにも、テーマを考える活動にもおもしろさを感じることができたという手ごたえを得た。

○今回は学校のことや身のまわりの問題について考えたが、この先、環境問題を扱った教材へ、教材から現実的な世界が抱えている問題へ、と生徒の視野を広げていくためにどのような手立てが必要かを考えていくことが課題である。理科や社会との連携を図りながら授業を組み立てていきたい。

この授業について

グループディスカッションは競技ディベートとは異なり、勝敗を決する必要がない。重要なのは自分がよく知っていると思っている友人と自分との間に感覚の差や意見の違いがあることを客観的に、あるいは体験的に理解することである。与えられた論題について話し合う過程で互いに意見が異なることを知り、誰か一人の意見だけが有用なわけではないことに気づき、相互の意見を取り入れて「納得解」を探すことを最初のねらいとした。ここでは与えられた論題について考えるところから一歩深化して論題を「探す」ことを目的とする。

評価規準 1年生

【知識・技能】原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2ア)

【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)

【主体的に学習に取り組む態度】日常生活の中からグループディスカッションに適切な論題を探し、提供しようとしている。

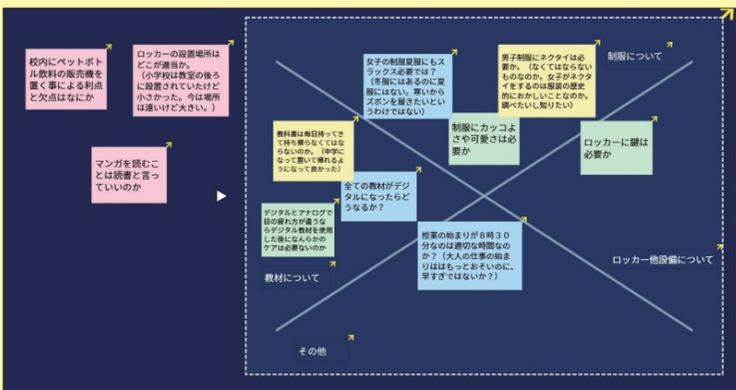


ICT活用のヒント

ロイノート・スクールを活用し、話し合いの過程を可視化する。

ロイノート・スクールの「共有ノート」機能と「シンキングツール」を使い課題に取り組んだ。

まず班のメンバーが自分のメモの色を決めて論題となりそうな自分の意見を書き、互いのメモを見て似たようなテーマのものを分類した。誰の発言かということの色でわかるようにすることや、意見の類似点の分類をするにあたりシンキングツールを活用することで、情報を整理しやすくなる。



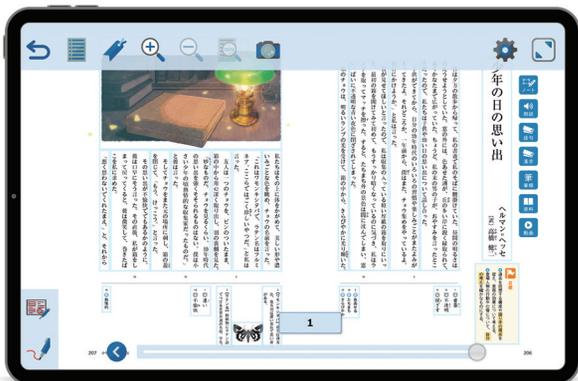
図は意見の共有場面。見やすい資料を作ることを指示しており、どのシンキングツールを使うかの指示はしていない。このグループはXチャートを使用している。

三省堂教科書・教材サイトでも、「授業アイデア」をご紹介します。



令和7年度版『現代の国語』 指導者用デジタル教科書(教材)

令和7年度版『現代の国語』『現代の書写』のデジタル教科書・教材はLentrance Readerで、充実の内容を提供します。



それぞれのコンテンツを迷わず呼び出せるよう、機能を刷新しました！好評の動画資料はもちろん、「辞書の三省堂」ならではの、語句や漢字フラッシュカードなどの充実のコンテンツを搭載しています。

教科書本文を画面上で操作できる「抜き出しノート」機能で授業をしっかりと支えます。



学習者用
デジタル教科書

特別支援に対応する多くの機能で、
全ての生徒が安心して利用できます。

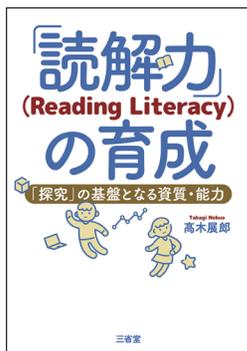
こちらから体験版を
ご利用いただけます



Lentrance、Lentrance ロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 Lentrance の登録商標または商標です。
その他本紙に記載されている会社名、製品名、商品名などの名称は、各社の登録商標または商標です。© 2024 Lentrance Inc. All rights reserved.



「読解力」(Reading Literacy) の育成 「探究」の基盤となる資質・能力



高木展郎 著

「読解力」(Reading Literacy) は時代が求める必須の資質・能力である。PISA 調査の経緯をふまえながら、その定義や内容を整理・考察し、学校教育における読解力育成の具体について提案・解説する。

定価 2,420 円 (本体 2,200+税 10%)
B5 判 / 160 ページ
978-4-385-36291-5

メロスはなぜ少女に赤面するのか 「テキスト分析」でつくる文学の授業



鈴木昌弘 著

「テキスト分析」は、優れた物語がもつ「空白」を、「問」という形で顕在化させる。テキストを根拠に「解」を求める過程こそ論理的思考である。「テキスト分析」の手法で、国語の授業を力強くサポートする。

定価 2,200 円 (本体 2,000+税 10%)
A5 判 / 160 ページ
978-4-385-36518-3

令和7年度版『現代の国語』『現代の書写』特設サイト

【コンテンツ】

- 令和7年度版『現代の国語』『現代の書写』の特徴
- 内容解説資料・教科書ダイジェスト
- デジタル教科書・教材のご案内 (体験版もあります)
- 教科書教材著者からのメッセージ動画
- 教科書編集委員による解説動画
- 各種資料 (年間学習指導計画作成資料、指導書ダイジェスト、Q&A など)



ことまな学校サポートサイト

ことまな学校サポートサイト

……指導書・デジタル教科書(教材)等をご採用いただいている学校ごとの専用サイト

指導書に付属する各種データに加え、追加の資料やワークシートなどのデータをダウンロードいただけます。デジタル教科書などの導入方法の確認や、お問い合わせフォームもご利用いただけます。(ログインにはIDとパスワードが必要です)